



議会だより

おやま町議会

No. 129

発行：静岡県駿東郡小山町議会



— 小山中学校創立以来の快挙 全国大会9位の小山中学校駅伝部 —

11月
臨時会
12月
定例会

■ 小山町職員の給与を引き下げ	2
■ 林道角取線災害復旧工事 総額1億646万6千850円	3
■ 町政のここが聞きたい 一般質問に8人	4
■ 研修報告	12
■ 私の望み	14

11月臨時会 昨年引き続き小山町職員の 給与を引き下げ!

小山町職員の給与に関する条例等の一部を 改正する条例について全員賛成で可決

町道の管理瑕疵 による自動車損 害事故3件

① 町道七曲
阿多野線
平成23年9月1日午後8時頃、上古城地内の町道

③ 町道3443号線
(上古城)
平成23年9月30日午後3時頃、上古城地内の町道

災害復旧費国庫負担金を
6,988万7千円増額
小山佐野川、精進川、海

時30分頃、東京電力阿多野貯水池南側の町道七曲阿多野線で、道路面の陥没にタイヤがかかり、前輪左側タイヤとホイールを破損した。過失相殺の結果、この時生じた損害賠償金4万877円を町が支払うことで、示談が整い、平成23年10月17日に専決処分した。

② 町道小山白岩線

平成23年10月17日午後1時30分頃、小山正福寺北側、町道小山白岩線で、歩道に設置したグレーチングが、車道側にはみ出していたことにより、そのグレーチングとその押さえの鉄板を跳ね上げ、車両左側パネル等を損傷した。過失相殺の結果、この時生じた損害賠償金6万9千822円を町が支払うことで、示談が整い、平成23年10月26日に専決処分した。

補正予算を可決

今年9月の台風12号及び台風15号により、林道施設、公共土木施設、公園施設及び文教施設が被害を受け、早急に復旧工事を行う必要が生じたため、規定の予算総額に、繰入歳出それぞれ2億1千791万7千円を追加し、予算の総額を93億3千119万7千円としたことについて、議会に報告し、承認を求めるものです。
※全員賛成で可決されました。

【主な内容は】

3443号線で道路側のグレーチングが湾曲していたことにより、走行中にグレーチングを跳ね上げ、車両下部を損傷した。過失相殺の結果、この時生じた損害賠償金5万4千831円を町が支払うことで、示談が整い、平成23年11月8日に専決処分した。

吾川の3河川と町道1578号線、町道奈良橋湯船線との2路線において、台風被害による災害復旧工事費に対して3分の2の国庫補助金を見込むものです。

林道施設災害復旧費を
3,390万円増額
今年9月の台風により被害を受けた林道角取線の災害復旧に係る測量設計及び復旧工事請負費です。

公共土木施設災害復旧費を
1億7,610万円増額
台風被害による土砂の流出や倒木等に対する緊急処理委託料と、小山佐野川他2河川と町道1578号線他1路線の国庫補助災害復旧に係る測量設計及び工事請負費、その他、町が単独で復旧する工事請負費等で

条例の改正

小山町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

今年9月に人事院から勧告されました給与改定に準じ、町職員の給料月額を引き下げるものです。
具体的には、50歳代を中心に40歳代以上を念頭に置いた俸給表の引き下げであり、職員の月例給を平均0.23パーセント引き下げ改定するものです。

また、民間との格差を解消するため、引き下げ改定が行われる職員を対象に、給与と6月に支給された特別給の額に調整率マイナスイナス0.37パーセントを乗じて得た額に相当する額を12月の期末手当の額から減額調整するものです。
※全員賛成で可決されました。

公園施設災害復旧費を
190万円増額
台風被害による須走多目的広場の舗装修繕料です。

文教施設災害復旧費を
610万円増額
台風被害による町内小中学校の修繕料と、足柄小学校、北郷小学校、北郷中学校、須走中学校の倒木処理

12月定例会

林道角取線災害復旧工事 総額1億646万6千850円！ 設計変更の増額分は1千333万円

規約の一部変更
 駿河学舎管理組合規約の一部変更
 今回の規約変更は、平成22年12月10日に公布された「障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえ、障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者

等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴い、協同処理する事務の根拠法令である障害者自立支援法の一部が改正され、条文の項番号の変更を行う必要が生じたことによるものです。

財産の取得

須走小学校校内体育施設の教育備品を893万円で購入
 今回購入する備品は、折りたたみ椅子650脚、折りたたみテーブル10台、講演台1台、司会台1台の計4品目、862点。
 業者6者による指名競争入札の結果、須原紙店が落札決定し、693万円で契約締結した。

工事請負契約(変更)の締結

平成22年度林道遺跡施設災害復旧事業 角取線災害復旧工事の工事請負契約(変更)の締結

変更内容は、林道角取線において、降雨により現地の地山が浸食され被害が拡大したため、道路線形を変更し、大型橋樑工54・8メートル、ふとん橋工354・7メートルを追加施工し、復旧を図るものです。
 変更による増額分は、1千333万1千850円で、総額1億646万6千850円です。

条例の制定・改正

小山町民の節や口腔の健康づくり条例
 小山町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
 小山町税条例の一部を改正する条例

小山町災害用慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
 小山町道路路占用料等徴収条例の一部を改正する条例

小山町普通河川条例の一部を改正する条例
 小山町営住宅条例の一部を改正する条例
 小山町消防団等公務災害補償条例の一部を改正する条例

補正予算を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億8千470万1千円を追加し、予算の総額を95億3千299万8千円とするものです。
 ※全員賛成で可決されました。

【主な内容は】
 ▼歳入の部
 ・地方特例交付金を336万9千円増額
 ・民生費国庫負担金を4千264万6千円減額
 ・教育国庫負担金を2千690万7千円増額
 ・教育国庫補助金を2千48万3千円増額

特定防衛施設周辺整備費交付金を1千560万円増額
 ・教育施設準備基金繰入金を2千29万9千円増額

▼歳出の部
 ・職員の人件費を1千305万3千円増額
 ・財産管理費を6千287万1千円増額
 ・母子保健事業費を1千621万4千円増額
 ・小山中学校改築事業費を1億4千376万5千円増額
 ・公共土木施設災害復旧費を1千611万1千円増額



▲被害を受けた林道角取線(大御神)

3月定例会のお知らせ
 3月定例会は次のように開催する予定です。
 ◆2月24日 町長から3月議会への提出議案の説明
 ◆2月27日 新年度予算の補正説明
 ◆2月29日 新年度予算の質疑と各常任委員会への付託
 ◆3月2日 一般質問
 ◆3月15日 常任委員会委員長の審査報告、質疑、採決
 ※変更になる場合があります。

● 一般質問 ●

町政のここが聞きたい



▲ 避難所運営ゲーム ※「HUG」(「静岡県作業所連合会・わ」より引用)



池谷 洋子

Q

防災対策に女性の視点を
取り入れることは

A

防災教育連絡会の中で女性の
視点からの配慮した運営も考えています

Q

東日本大震災では、避難所で女性の着替え場所、水や電気がない中での授乳、生理用品の不足など女性の視点が欠落していました。

Q

は、防災教育連絡会を開き、運営について協議をしており、女性の視点からの配慮をした運営についても考えています。

Q

「県が開発したHUGの取り組みについて」

A

「女性の視点は生活者の視点」です！地域防災対策の見直しで女性委員の登用や物資の備蓄を女性や高齢者の視点から見直すなど対応を考えますが見解は、

A

「HUG」とは避難所運営ゲームのことです。事前に模擬体験することによってという時の迅速な対応を訓練できます。「HUG」を通して「迅速で公平な判断力」「優先順位は何か」「被災者の気持ちを考えてやる力」などを培ってほしいと思います。

A

町長 避難所運営ゲーム「HUG」については、3セツトを購入し、一部の自主防

Q

「避難所運営で教職員向け手引書を作成し、それに基づく研修を実施しては」と考えますが町の見解は。

A

各学校では、毎年度地震防災応急計画書を作成し、児童生徒の安全確保や避難所の開設などについて、職員会議や避難訓練で確認をしています。避難所の運営は、自主防災会が主になりますが、今回の東日本大震災を機に、HUGを使った訓練を行うなど、検討をしていきます。

※HUG 静岡県が開発した避難所運営ゲーム。(H=避難所、U=運営、G=ゲーム) 事前に避難所運営を模擬体験することで、いざという時の迅速な対応を訓練するシュミレーションゲーム。

● 一般質問 ●

一般質問に8人の議員が町の方針をたどしました



込山恒広

Q 富士山の世界文化遺産登録をめぐる課題は

A 世界文化遺産登録までに必要な組織体制を
設けたいと考えています

本件については、山梨県、静岡県、その関係17市町村で合同会議を設けて、来る平成25年のユネスコへの世界文化遺産登録の準備を進めています。これらに対応し、富士山をメインとした観光行政へ力を入れていくことが、町の活性化に必要であると考えます。

の可否も含めて慎重に対応したいと考えています。

Q 御殿場市、裾野市では、富士山の日関連事業の計画がされていますが、小山町での啓発イベントの計画について伺います。

A 町では平成23年の「富士山の日」に町民のこの家を訪れていた方々に「富士山の日記念タオル」を配り、「富士山の日」をアピールしました。本年も同様に記念品を配ることを予定しています。さらに、「道の駅「ふじおやま」」すばしり」において「富士山の日」啓発イベントを検討しています。

Q 活動を推進するためには、F1招致の時と同様に町民主体のワークショップ等で進めたように、NPO、企業、商工会等の関連組織、町民代表者、有識者からなる組織を作って、町ぐるみで進める必要があると考えます。富士山世界文化遺産登録小山町推進会議（仮称）設置の提案をします。

A 町長 富士山世界文化遺産登録小山町推進会議設置の提案については、世界文化遺産登録に際し重要なことの一つとして地元の機運の高まりがあります。平成25年の登録の可否決定までにユネスコの諮問機関である国際記念物遺跡会議「イコ

モス」の現地調査があります。その際に町として歓迎行事を計画するなど、様々な機会にアピールすること

が必要で、世界文化遺産登録までに必要な組織体制を設けたいと考えています。

Q 富士山の山梨県側と静岡県小山町との境界付近の測量調査の有無と測量の時期について伺います。

A 町長 測量調査の実施は、県境未確定地という非常にデリケートな地域であるため、両県民の感情を逆なでることが無いように、実施



▲ 小山町の構成資産となっている「須走登山道」

● 一般質問 ●

1・2・3で安心住まい

<p>診断は電話 1 本で</p>  <p>専門家の 無料耐震診断</p>	<p>補強計画は 2/3</p>  <p>補強計画の作成</p>	<p>補強工事に 30 万円</p>  <p>耐震補強工事</p>
<p>無料耐震診断の申し込み お気軽に電話ください</p>		
<p>プロジェクト TOUKAI (東海 東海) - 0</p>		

▲静岡県で推進しているプロジェクトTOUKAI-0 (県ホームページより引用)



高畑 博行

Q 小山町緊急経済対策
住宅建設等助成制度の拡充を

A 定住人口拡大を目的として
県制度等との連携を考えています

本年度5月から始まった小山町緊急経済対策住宅建設等助成制度(住宅リフォーム助成制度)ですが、7月6日には助成金申請額が2千万円に達し、申請件数66件で受付を取り止めた。

Q 本年度5月から始まった小山町緊急経済対策住宅建設等助成制度(住宅リフォーム助成制度)ですが、7月6日には助成金申請額が2千万円に達し、申請件数66件で受付を取り止めた。

A 町長 ①近隣市町と比較しても、決して少額ではなく、妥当な予算であり、まだ工事が未完了の申請も多数ある事から、補正は実施しない旨を商工会にもお伝えし、理解をいただいています。

④住宅資金貸付制度や「TOUKAI-0」の耐震補強助成事業等の現行制度を踏まえ、個人の用地取得に対する補助など、様々な検討を進めていきます。

Q 他の多くの市町で実施しており、実績をあげている小規模工事等契約希望者登録制度を小山町でも導入する考えはないか？

A 町長 制度の導入は、公益、公正さを高めることはもとより町内業者の受注機会の拡大や、町内の経済の活性化につながるものと考えています。

A 町長 今後、導入について前向きに進めていきます。

①これだけ好評だった本事業なのに、なぜ補正予算を組んで事業の拡大をしなかったのか？
②本事業の経済効果と波及効果を総務省の経済波及効果計算表に基づいて計算するとどの程度か？
③来年度の予算編成上、本年度より制度の拡充をする考えはないのか？
④この制度を考え直すという話があると聞くと、町長の見解は？

②2千万円の助成金に対し、申請工事総額は2億8千万円超で14倍の経済効果がでており、他産業においては約2億7千万円で、約5億5千万円の波及効果と分析しています。

③本年度は地域経済活性化の一翼を担い、緊急経済対策としての所期の目的は達成したので、来年度は定住人口拡大を目的として県制度等との連携を考えています。

● 一般質問 ●



湯山 宏一

Q 来年度予算の編成方針は

A 予算と連動した総合計画の施策を

重点的に取り組みたいと考えます

税収入が減少している一方義務的経費は増加するなど、町の財政は弾力性を失いつつあります。

Q 予算編成は、大胆な優先順位付けをせざるを得ないと考えますが、町長の基本的な取り組み姿勢を伺います。

A 町長 予算編成については、町民満足度を高めるために、既存事業の見直しや事業の必要性・効率性を検証し、さらに、小山町を金太郎のような元気のある町にするために、町民の総力で策定された第4次小山町総合計画と私が掲げたマニフェストの具現化が最良と考えております。その中で、予算

と連動した総合計画の実施計画の施策を重点的に取り組みたいと考えております。

Q 将来を担う子どものための教育予算は、かつて長岡藩で実践された「米100俵の精神」で取り組むべきと考えますが、いかがですか。

A 町長 教育予算については、教育施設の耐震補強事業を進めており、来年度の須走小屋内体育施設建設事業等の完了により、100%耐震基準を満たし安全な環境整備が図られることとなります。また、小学1年生学級の支援員や外国人英語指導員の他、今年度から始めた小学校図書館支援員の配置を

行い、引き続き学校教育の充実を図っていきます。

Q 定住人口確保のため、今の町においては宅地供給はきわめて有効な施策です。第4次総合計画の「活力ある土地利用の推進を強力に推し進めるべき」と考えますが、町長のお考えはいかがですか。

A 町長 土地利用の推進への取り組みについては、将来像を踏まえた都市計画を実現するため、都市計画マスタープランと、地区計画による整備計画を策定し、市街地の都市基盤整備を推進し、定住人口の拡大に繋げたいと考えております。

1 平成22年度 健全化判断比率 (単位:%)

区分	小山町の比率		早期健全化基準 (平成22年度)	財政健全化基準 (平成20年度)
	平成22年度	前年度		
①実質赤字比率	※ ー	ー	14.80	20.00
②経常経費赤字比率	※ ー	ー	19.80	35.00
③実質公債費比率	14.6	14.6	25.0	35.0
④特別債負担比率	110.5	105.0	350.0	

※①・②とも赤字で、赤字比率は算定されないため、「ー」表示になっています。

2 平成22年度 資金不足比率 (単位:%)

区分	小山町の比率		健全化基準 (平成20年度)
	平成22年度	前年度	
下水道事業特別会計	※ ー	ー	20.00
水道事業会計	※ ー	ー	20.00

※いずれの会計とも赤字で、資金不足比率は算定されないため、「ー」表示になっています。上記のとおり、「1 健全化判断比率」、「2 資金不足比率」の小山町の指標は、「早期健全化基準」を下回っているため、健全な状況であると判断できます。

▲ ※小山町の健全化判断比率と資金不足比率(小山町のホームページより引用)

7 ※これは、地方自治体の財政の早期健全化と財政再生、公営企業の経営の健全化を目的に、平成19年6月に成立、交付された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、公表が義務づけられたものです。詳しくは小山町のホームページをご覧ください。

● 一般質問 ●



▲ 雨漏りのため、腐蝕し天井に穴が開いている文化会館



池谷 弘

Q 小山町総合体育館、文化会館の雨漏り対策は

A 少しでも早く快適な施設を安心して利用できるよう改修計画を進めています

「小山町総合体育館、文化会館はスポーツや文化の中核施設です。また災害時の避難場所であり、役場が使用できない時の代行施設でもあります。建設して多年経過しているため、雨天時に雨漏りがあり、使用に支障が出ている状況です。」

トやライブカメラの町HP掲載、町民の富士山イベント等を提案します。

「小山町総合体育館、文化会館はスポーツや文化の中核施設です。また災害時の避難場所であり、役場が使用できない時の代行施設でもあります。建設して多年経過しているため、雨天時に雨漏りがあり、使用に支障が出ている状況です。」

Q 町民の協力を得ながら、富士山を観光資源としての活用計画を伺います。

Q 雨漏りの対応計画について伺います。

等計画書を提出し、実施設計、工期、補助対象等について協議を進めております。現時点では、本年度末から来年度にかけて実施設計を、平成24年度から平成25年度に改修工事が行えるよう要望しております。少しでも早く快適な施設を安心してご利用いただけるよう改修計画を進めていきます。

A 町長 私は、町の地域資源として富士山は一番の資源であると考えております。町民の皆さんにも認識していただくために、主催行事の名称を変えたり、多くの富士山関連の行事を主催・共催しております。今後とも富士山をはじめとした観光資源と交通利便性を活かした観光立町を旨とした事業を実施していきます。

A 町長 この6月に両施設の設計業者と工事施工業者に雨漏り調査を依頼し、改修方法と概算工事費についてご提示いただき、外壁改修やトイレの洋式化等、大規模な改修工事と合わせて計画しております。現在、南関東防衛局長へ補助事業

「富士山の町小山町は日本中の認知度が周知市町村より非常に低いと思えます。小山町の活性化のため、小山町をPRし、泉町を地味にする必要がありません。町民各人の富士山への思いを表すことが必要で、各自の富士山ビューポイント」

その後とも富士山をはじめとした観光資源と交通利便性を活かした観光立町を旨とした事業を実施していきます。

その他に、「富士山のある小山町のPRについて」の質問がありました。

● 一般質問 ●



湯山 鉄夫

Q 電力の節電停電の態様と
電力事情への取り組みは

A 空調設備の使用時間制限の
実施など節電に努めました

電力の節電停電の電力事情の取り組みについて、本年3・11発生の東日本大震災に於ける東電福島第一原子力発電所の崩壊事故による電力不足状況が今夏季には消費電力削減目標の定めや一般家庭、地域では計画停電が実施されました。

電力の生産減に対して消費電力の節約が要求されました。この状況を看過する事なく真摯に受け止め新たな試行をすべきと考えます。

Q 節電対応計画停電にはどのように対処されたか。

A 町長 震災による電力不足への対策は、空調設備の使

用時間制限を実施し、事務室内蛍光灯の引き点灯など、職員一丸となりアイデア、工夫を凝らし節電に努めました。

Q 夜間の停電時に於いて、問題点・課題の発生は。

今後の電力事情に向けての取り組みについて。

A 町長 東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の深刻な事故により、これまでのエネルギーに対する考え方を根本的に見直す必要が生じました。風力発電、水力発電などの自然エネルギーを利用した発電設備は、環境負荷の少ない工

ネルギーの創出はもちろ
ん、地域振興に資するとい
う目的や環境問題への取り
組みのシンボルとして全国
の市町村で設置されてきま
した。

町でも平成20年度に、東
富士五湖道路羅漢坂トンネル
湧水を利用した小規模な水
力発電所設置の調査研究を
実施しました。この計画は
実現に至っていませんが、
新たな電源開発の可能性を
探ることは必要であり、施
策の一つとして須走小学校
に太陽光発電設備を設ける
こととしました。今後町
の施設に同様の設備を設け
るなど、実現できるところ
から地道に取り組んでいき
ます。



▲ 風力発電に取り組んでいる出雲市（県外行政視察にて）

● 一般質問 ●



▲ 改善改良が必要な小山球場



桜井 光一

Q 青少年の健全育成を

A 人的支援や経済支援を

検討していきたいと考えています

今年のわが町の青少年のスポーツでの活躍は目を見張るものがありました。夏の高校野球県大会では小山町出身者が多く活躍し、プロ野球千葉ロッテマリーンズに鈴木大地選手が入団。小山中駅伝部が県大会で優勝し、全国大会に出場。市町対抗駅伝では町の部第3位と大健闘。青少年が町に元気パワーを発信しました。この様な背景から次世代を担う青少年育成のための施策を3点質問します。

今年のため、11月9日に開催された小山町行財政改革審議会に諮問したところであり、その回答をもって検討したいと考えています。

「勝栄町とのスポーツ少年団民間交流の再現」平成4年8月に開催して以来途絶えているので是非再現を。

姉妹町の勝栄町とのスポーツ少年団間の交流の再現については、平成4年に北郷スポーツ少年団が、勝栄町のスポーツ少年団とのソフトボール大会のために親善訪問をしたことが一度ありました。来年度小山町は、町制施行100周年を迎えますので、100周年記念事業のなかで、何か交流ができないか検討したいと考えて

「スポーツ少年団への助成金の見直し」10団体で平均額5万2千円では少ないのでは？

助成金の見直しについては、他団体との均衡等も考慮し改正しなければ

「スポーツ施設の改善改良」小山球場スコアボードのSBOをBSOに変更、打者表示ランプ、外野の芝生化は？

スポーツ施設の改善改良は、すぐにはいきませんが、小山球場のスコアボードの表示変更や、打者表示ランプ、外野芝生の設置については、何らかの収入財源の確保が見込まれた時には、実施したいと考えています。

● 一般質問 ●



鷹 嶋 邦 彦

Q わが町の都市計画は昭和43、44年頃に構想を立てていますが、この時代は建設省と農水省との用途区分の設定が重なり、市街化区域の設定がおこなわれた経緯があります。そこで、都市計画道路の計画構想を現在の町の置かれている現状を見て、第4次小山町総合計画等と整合を図りながら早急に見直しをするべきと想うが。

A 町長 現在、都市計画道路は車線数を表示するために、都市計画法第21条第1項の規定に基づき変更の手

Q 都市計画道路の事業実施を

A 見直し作業の結果を踏まえて

決定していきます

続きを行っています。よって、見直しの作業はその後に着手する予定です。

Q 見直し後の実施方針は？
どの路線を優先するの

A 町長 再検証方法を策定し、必要性・合理性などの検証を行い、見直し作業の結果を踏まえて決定して行くこととなります。

Q 厳しい財政状況下での財源確保は？
A 町長 基本的には、国・県の補助金を活用して整備して行くことを考えています。

Q 県下の状況を踏まえて、都市計画税を導入する考えはあるのか？
もし、都市計画税を導入するとすれば、導入の時期や税額予測をどのように考えているのか？

A 町長 今後の町の発展や都市計画事業の実現のためには必要になってくると考えます。来年度から予定している都市計画マスタープランの見直しや都市計画道路の見直し作業と同時進行で都市計画税導入について、町民の皆さんと議論を交えながらご理解いただけたら進めて行きたいと考えています。



▲ 都市計画道路の打越用沢線

11 その他に、「下水道会計について」の質問がありました。



▲「森の駅」のゲストハウス



▲山中湖ヴィレッヂ「森の駅」

議員視察研修(県外・県内研修)

— 山中湖村、須走、函南町において —

議員研修報告

渡辺悦郎

11月18日、全議員が参加し、県内・県外の行政視察を行いました。

1、観光客誘致施設「山中湖ピカ山中湖ヴィレッヂ」
 通遊型から自然を活かした短期滞在型への取り組みとしてコーディジヤハンモックカフェ、オーガニックガーデンやファームで、「環境に配慮したライフスタイル」を体験させている。自然豊かな小山町も参考に出来る。

2、道の駅指定管理状況
 「道の駅すばしら」
 管理者からは施設改善要望等、町からは集客についての対策、レストランのメニューについて要望等の意見交換を行った。

3、日帰り温泉施設「湯〜トピアかんなみ」(函南町)
 町の直営だった日帰りの温泉施設「湯〜トピアかんなみ」

「み」を指定管理者制度移行に伴う状況について視察研修を行った。直営当時の就労者の大半が再雇用されていて就労上の問題は無く、サービス等についても継続されている。改善意見・提案が出やすく対応も早いとの意見もあった。平成16年11月にオープンした「あしがら温泉」を指定管理者制度とする時の参考となる視察研修であった。

今回は全議員視察研修のみを報告いたしました。個人視察研修も頻繁に行われており、それぞれの議員がグループや個人でそれぞれ着目した項目についても視察研修を行っております。

すべての視察研修を小山町の現状に照らし合わせ、良いところは継承し、改善を要するところは改善し、小山町を活性化して安心・安全に生活できるようにまちづくりに全議員が一丸となり邁進しておりますことを報告いたします。



▲「湯〜トピアかんなみ」のロビー風景



▲「湯〜トピアかんなみ」の全景



▲親子ふれあい活動



▲幼保園「のぎ」の0歳児保育



▲幼保園「のぎ」の園庭で遊ぶ園児

議員研修報告

渡辺悦郎

10月5日～7日鳥取県・鳥取県において全議員が参加し、行政視察を行いました。

1、幼保一元化の取り組みについて

(松江市立幼保園「のぎ」)

平成17年4月「幼保一元化施設モデル園」として開設され、0歳児～5歳児までの10クラス、約200名の園児が園生活を送っている。

幼稚園機能と保育園機能のそれぞれの良さや特徴を活かした就学前教育・保育を目指している。小山町においても北郷保育園の老朽化に伴い幼稚園と保育園の一元化を模索しているところであり、参考となった。開設後7年を迎

議員視察研修(県外研修)

— 幼保一元化、風力発電への取り組み —

えようとしている施設で、現場での問題点や意見交換を行った。

2、次世代エネルギー

(出雲市(後)新出雲ウインドファーム)

平成17年から環境影響評価法、条例に基づかない自主的な調査を行い、平成18年度出雲市が県に支援要請し完成した。平成21年度に運転を開始し、7万8千KW/hの出力を有するが、安定した運転を目指すために約60パーセントで運転している。

小山町での立地については地積、地盤等において慎重に検討することが必要と思われる。



▲出雲市の風力発電 全景



▲幼保園「のぎ」の園舎と園庭

私の望み

No.2



長田美香 (北郷小6年)

私は自然が大好きです。特に私の住んでいる小山町の自然が大好きです。おととしの夏、大きな台風が小山町を直げしました。私は生まれて初めてあのような台風を体験しました。この町のいろいろなところが被害にあいました。私の家では外にあるビニールハウスの窓ガラスが割れてしまいました。台風が直げしてから約1年ぐらいたっても、まだ被害のつめあとが町役場の裏の川にあります。もう少し早く直してほしいと思います。

私にはもう一つの望みがあります。私は今、バドミントンをやっています。3年生からやっていて、今年4年目です。私は中学校は北郷中学校に行く予定です。私は中学校の部活動で、バドミントンをやりたいと思っていました。でも私の行く中学校にはありません。中学校の部活動に、バドミントン部を作ってほしいと思います。

私は小山町の富士山が自慢です。毎朝、富士山から元気をもらって登校しています。この雄大な富士山は季節ごとに、いろいろな姿を見せてくれます。すてきな富士山をもっと全国的にアピールして、小さな小山町が観光客でにぎわう町にしてほしいです。

皆さんの声を募集しています！

町づくりや子ども教育のことなど、どんなことでも結構です。で、あなたの住所、氏名、電話番号を明記してメール、ファックスやお手紙で気軽に寄ってください。

ご応募いただいた内容は、広報委員会でも参考し、ご本人に承認していただいたうえで「議会だより」に掲載することとします。

議会へのメールアドレス gikai@fuji-oyama.jp

編集後記

昨年は、3・11東日本大震災と福島第一原発の事故による甚大な被害からどう復興し、日本全体が支障していっただけのかが問われ続けた一年でした。被災地の人々の心をどう受け止め、互いの「絆」のあるべき姿が強く求められました。一昨年、台風被害で大きな被害を受けた小山町民だからこそ、東北の被災地の方々へ贈せる思いも大きなものがありました。

この議会だよりが町民のみなさまの手に渡る今年こそ、日本にとっても小山町にとっても幸多き年になることを願わずにはいられません。

議会だよりも、町民のみなさまに親しまれ読みやすい紙面にできるように、努力してまいります。

(記) 高畑博行

(編集委員)

- 委員長 藤嶋 邦彦
- 副委員長 高畑 博行
- 委員 湯山 宏一
- 委員 渡辺 悦郎
- 委員 湯山 鉄夫

議会のことを教えて！

「*全員協議会*」

1、議会独自の協議又は意見調整
議会独自の行事や運営活動について協議したり、意見調整をする場合。

2、本会議の審議に伴う協議又は意見調整
本会議の審議の過程で、必要に応じて、議会を休憩して話し合いをする場合。

3、町長による事前説明及び意見の聴取
町長の依頼を受けて、議長が招集するもの、目的は町長が議会に提案予定の案件についての事前説明を行う場合や、行財政運営上の重要問題等について議会の意見を求める場合。

全員協議会は、通常、次のような場合に議長の招集で開かれる会議です。

せたような場合があります。



会議録の閲覧ができます

議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で閲覧できますので、ご覧ください。

なお、12月定例会の会議録は、2月下旬から閲覧できます。

小山町のホームページ <http://www.fuji-oyama.jp>

